



長野県建築士会

佐久支部



## 佐久の札所

### 第6番札所 安養寺

佐久市安原1687

宝林山安養寺は臨済宗妙心寺派に属し、創建は1365年頃。

寺には、鎌倉時代後期の作といわれる阿弥陀如来・菩薩像三体や、法灯円明国師座像など貴重な宝物が収められており、武田信玄が残したと言われる六百巻にも及ぶ『大般若経』が県宝に指定されている。

また、鎌倉時代に覚心上人が中国から味噌作りを伝えたといわれ、『信州味噌発祥の地』ともいわれている。



## もくじ

支部長あいさつ	2
建築課長あいさつ	3
佐久支部協議会	4～5
事業中間報告	6～7
新年講演会	7～8
委員会活動について	9～11
着任挨拶	12～13
新入会員の声	14
賛助会員の紹介	15
事務局より	16

## ご挨拶

(一社) 長野県建築士会佐久支部

支部長 臼田 幸夫



暑さ厳しき折、会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。去る5月15日の支部協議会において平成29年度決算、30年度予算の報告及び30年度の事業計画が承認され任

期折返しのスタートを切ることができました。

昨年度は手探り状態の支部運営でしたが、会員の皆様のご理解とご協力を頂きながら大過なく務めることができたことに改めて感謝申し上げます。

昨年度の活動を振り返りますと、なんと云っても青年女性委員会の風穴における実践活動が建築士全国大会で最優秀賞を受賞したことが挙げられます。出場大会3連覇だったことも特筆すべき事で、このような年に支部長として立ち会えたことは大変な誉れだったと思います。今年度も御代田フットパス事業が長野県地域発元気づくり支援金事業に採択されました。今後の青年女性委員会の活躍が期待されます。

さて、5月26日に開催されました長野県建築士会の総会において公益社団法人への移行に向けて建築士会定款の改正案が承認されました。支部にも様々な意見がありましたが、知事の公益認定へ向けての準備が整いつつあります。公益法人へ移行するために障壁となっていた証紙の取扱は、新法人「一般財団法人長野県建築士活動センター」が設立され、4月より佐久支所として証紙の販売を開始しています。但し、これまで通り支部事務局の窓口で扱っており外形上は変わりありませんので、今後共ご利用をお願いします。この団体は公益社団法人となる長野県建築士会ではその活動に制限のある収益を上げる事業にも積極的

に取り組んで、資金面から建築士会を支援して頂けるものと大いに期待します。

会員の減少は佐久支部に限らず他支部・他団体においても同様のことですが、少子化と人口減少の中ではやむを得ないことではあると思います。しかし組織の運営面から考えた場合10年、20年先の建築士会の存続に関わる問題だと深刻に受け止めなければなりません。いずれは事務局の統合、支部の合併など避けては通れない問題となってきました。

既に北信ブロックでは組織再編についての協議が進んでいます。佐久支部では現在他支部との合併などを考えている訳ではありませんが、同じ東信ブロックの上小支部、埴科支部との共同事業、共同活動を進めお互いに意識の共有を図って行きたいと考えています。そのため会員の皆様にも知恵をお借りしたいと思います。どうかよろしく願い致します。

佐久支部は今年度で旧佐久支部と南佐久支部との合併から30周年を迎えます。今年度の事業活動の筆頭に掲げました30周年記念事業の開催に向けて実行委員会が結成されました。

10年前に20周年記念事業が盛大に開催されましたが、今回の開催意義としてこの10年間は法人制度改革、本会との会計統合そして公益社団法人への移行と組織として大変な節目だったと思います。又、平成21年に青年女性委員会が佐久支部として初めて長野県の元気づくり支援金事業に採択され、現在も続いている中部横断自動車道佐久南IC周辺のねむの木の景観活動、その後の佐久穂町・小諸市のまちづくり実践活動そして昨年の風穴における活動を振り返った時、この10年は青年女性委員会の活躍の10年とも言えます。この歴史を記憶に、そして記録に残すべく記念大会としたいと思います。このような支部の記念事業は本会との関係、或いは支部基金を考えた時に今後実施することは困難であると考え、今回計画致しました。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご多幸と更なるご活躍を心よりご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

長野県佐久建設事務所

建築課長 **金子 裕**



4月の人事異動により、北信建設事務所から赴任しました金子裕でございます。

日頃から、長野県建築士会佐久支部の皆様には、県の建築住宅行政の推進に御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

佐久での勤務は12年ぶり、3度目となります。豪雪地の北信と違い晴天率が高く、雄大な佐久平の宝物である雄大な浅間山と八ヶ岳を望め、歌謡曲にうたわれた千曲川にひたり、旧中山道や北国街道に沿った歴史的風土が感じられつつ、信州で一番東京に近い当地でわくわくしている一方で、民間確認検査機関に確認申請が流れているとはいえ、相変わらず多い書類と来庁者が多い職場でせわしく過ごしています。

さて、県では、県づくりの方向性を明らかにし、県民の皆様と共有しながら夢や希望の実現に取り組むため、新たな総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～」を取りまとめました。本計画は、2022年度までを計画年度とし、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を基本目標に掲げています。

この計画の中で、当地域の取り組みも一つである、移住・二地域居住を推進するため、空き家対策の推進やコンパクト住宅の普及をします。引き続き、空き家相談への協力や中古住宅に対するインスペクション費用の補助事業の活用

より、中古住宅の流通が促進されることを願っています。

また、いのちを守り育む県づくりとしまして、引き続き2020年度における住宅の耐震化率の目標を90%とし、耐震化を促進します。佐久合同庁舎も機能強化のため耐震改修を行っており、来庁の皆さんにはご迷惑をかけますがよろしくお願い申し上げます。

さらに、省エネルギーや県産木材の利用住宅のリフォームや新築に助成することのより、快適で健康な住まいづくりをすすめ、若手大工の育成、県内への移住を促進します。耐震工事とあわせて助成金の活用をお願いします。

総合5か年計画の推進にあたりましては、副題にありますように、「学びと自治の力」を推進エンジンとして政策を展開します。建築士の皆様におかれましても、建築士事務所の所属建築士の定期講習をはじめとして、建築士の資質向上のため講習の受講などに積極的に参加し、それぞれの立場での活動により、5か年計画の推進に御支援をお願いします。

昨年度の新設住宅着工戸数は、全国・全県とも減りましたが、当地域は増えており、中部横断自動車道の延伸の効果などにより、今後とも発展が期待されます。しかしながら、当地域のすばらしい景観の育成、空き家対策などの課題に対しましては、その地域の建築士の力添えが欠かせません。地域独特の風土に合った建築は地域の方による必要があります。当地域の発展のためにも、皆様のお力をいただけますようお願い致します。

最後に、建築士会佐久支部の益々の発展と会員の皆様の御活躍と御健康を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



# 平成30年度 佐久支部協議会

## 平成29~30年度 (一社)長野県建築士会佐久支部 委員会名簿

佐久支部第8回協議会が至る5月15日、佐久一万里温泉ホテルゴールデンセンチュリーに於いて、盛大に開催されました。委員会名簿の一部に変更があります、各委員の氏名は下記のとおりです。

~~~~~

### ◎総務・企画委員会

- 担当副支部長 山口 副支部長
- 委員長 菊池 弘之 (佐久)
- 副委員長 中島 新八郎 (川西)
- 委員 大井 正広 (小諸)
- 片井 英治 (佐久)
- 中里 忠雄 (御・軽)
- 堀内 文雄 (南佐久)

### ◎教育・事業委員会

- 担当副支部長 佐藤 副支部長
- 委員長 茂木 隆 (佐久)
- 副委員長 小平 稔 (佐久)
- 〃 白鳥 正司 (小諸)
- 委員 竹花 彰男 (佐久)
- 小泉 仁 (御・軽)
- 鈴木 繁之 (川西)
- 小須田 美一 (南佐久)
- 小林 賢司 (小諸)



### ◎社会貢献委員会

- 担当副支部長 高橋 副支部長
- 〃 土屋 副支部長
- 委員長 星野 武光 (佐久)
- 副委員長 山田 功 (御・軽)
- 〃 柳澤 洋介 (佐久)
- 〃 小泉 正樹 (川西)
- 委員 大竹 雅英 (小諸)
- 高橋 厚志 (小諸)
- 柏木 邦彦 (佐久)
- 吉澤 和彦 (佐久)
- 田村 優美子 (佐久)
- 両川 正 (御・軽)
- 佐藤 成暁 (南佐久)
- 甘利 佐賀男 (小諸)
- 真嶋 和紀 (佐久)
- 菊池 広美 (佐久)
- 小林 由美子 (佐久)
- 高橋 美貴 (佐久)
- 芋川 聡 (南佐久)



## ◎情報・広報委員会

|        |              |
|--------|--------------|
| 担当副支部長 | 土屋 副支部長      |
| 委員長    | 山浦 孝志 (小諸)   |
| 副委員    | 大竹 雅英 (小諸)   |
| 〃      | 飯沼 勝智 (川西)   |
| 委 員    | 高地 菊男 (佐久)   |
|        | 佐野 孝太郎 (御・軽) |
|        | 櫻井 和也 (南佐久)  |
|        | 高橋 美喜 (南佐久)  |
|        | 阿部 義則 (佐久)   |
|        | 下平 昭夫 (小諸)   |
|        | 小林 清 (佐久)    |
|        | 荒井 央 (佐久)    |
|        | 小林 夕起男 (佐久)  |
|        | 小穴 久江 (佐久)   |
|        | 本田 典子 (南佐久)  |

## ◎青年・女性委員会

|        |                  |
|--------|------------------|
| 担当副支部長 | 清水 副支部長          |
| 委員長    | 緑川 博行 (佐久)       |
| 副委員長   | 鎌田 賢太郎 (佐久)      |
| 〃      | 飯田 智 (佐久)        |
| 〃      | 山田 まどか (御・軽)     |
| 〃      | 真嶋 直行 (御・軽)      |
|        | 星野 武光 (佐久)       |
|        | 佐藤 成暁 (南佐久)      |
|        | 柳澤 緑 (佐久)        |
|        | 荒木 貴志 (小諸)       |
|        | 重田 仁志 (川西)       |
|        | 井出 正臣 (南佐久)      |
|        | 新津 輝秋 (佐久)       |
|        | 佐藤 穂高 (佐久)       |
|        | 武重 直人 (佐久)       |
|        | 井野 勇志 (御・軽)      |
|        | 柳澤 洋介 (佐久)       |
|        | 桐原 満 (南佐久)       |
|        | 高見澤 晃 (南佐久)      |
|        | 小林 千恵 (御・軽)      |
|        | 齊藤 絵美 (小諸)       |
|        | 新津 加奈子 (佐久)      |
|        | 田村 こころ (佐久)      |
|        | 星野 仁 (佐久)        |
|        | 土屋 将奈 (小諸)       |
|        | 青木 浩之 (佐久)       |
|        | 他 4 5 歳以下の男性及び女性 |

## ◎交流委員会

|      |             |
|------|-------------|
| 担当   | 臼田支部長       |
| 委員長  | 大町 栄一 (川西)  |
| 副委員長 | 油井 満夫 (南佐久) |
| 委 員  | 大井 正広 (小諸)  |
|      | 柏木 邦彦 (佐久)  |
|      | 竹花 彰男 (佐久)  |
|      | 小泉 正樹 (川西)  |



# 平成30年度事業中間報告

| 月 日            | 行 事 名                        | 場 所        |
|----------------|------------------------------|------------|
| 4. 2<br>～4. 23 | 二級・木造建築士試験申込用紙配布             |            |
| 4. 6<br>～5. 14 | 一級建築士試験申込用紙配布                |            |
| 4. 3           | 第5回三役会                       | かつ栄        |
| 4. 4           | 第8回社会貢献委員会                   | 佐久市民創練センター |
| 4. 4           | 県シニア特別委員会                    | 長野県建築士会館   |
| 4. 11          | 県建築活動委員会                     | 長野県建築士会館   |
| 4. 11          | 県資格委員会                       | 長野県建築士会館   |
| 4. 11          | 第6回三役会及び第5回幹事会               | 佐久市民創練センター |
| 4. 16          | 県フォーラム実行委員会                  | 長野県建築士会館   |
| 4. 17          | 住宅相談等に関する対応の仕方講習会（兼住宅相談員講習会） | 佐久平交流センター  |
| 4. 19          | 県省エネ設計調査員説明会                 | 長野県建築士会館   |
| 4. 20          | 仕事に役立つ整理収納セミナー及び新入会員歓迎会      | かつ栄        |
| 4. 24          | 第8回青年女性委員会                   | エコールみよた    |
| 4. 26          | 東北信地区組織再編協議会                 | 長野県建築士会館   |
| 5. 11          | 県理事会                         | 長野県建築士会館   |
| 5. 15          | 平成30年度支部協議会                  | 佐久一萬里温泉ホテル |
| 5. 15          | 建築相談                         | 佐久合同庁舎     |
| 5. 18          | 第1回総務企画委員会                   | 佐久市民創練センター |
| 5・23           | 組織再編東信ブロック会議                 | 上田合同庁舎     |
| 5. 23          | 第1回30周年記念事業実行委員会             | かつ栄        |
| 5. 26          | 第68回通常総会                     | メルパルク長野    |
| 5. 30          | 県木造塾実行委員会                    | 長野県建築士会館   |
| 5. 31          | 第1回情報広報委員会                   | 佐久グランドホテル  |
| 6. 3           | 第2回情報広報委員会                   | 安養寺他       |
| 6. 4           | 県三役会及び理事会                    | 長野県建築士会館   |
| 6. 4           | 第1回教育事業委員会                   | 佐久市民創練センター |
| 6. 6           | 景観授業                         | 泉小学校       |
| 6. 7           | 県青年女性委員会                     | 長野県建築士会館   |
| 6. 8           | 佐久南インター景観をつくる会花植え作業          | 泉地区・岸野地区   |
| 6. 11          | 東北信地区組織再編協議会                 | 長野県建築士会館   |
| 6. 12          | 県シニア特別委員会                    | 上高地        |
| 6. 12          | 第1回社会貢献委員会                   | 佐久市民創練センター |
| 6. 13          | 県景観整備機構                      | 長野県建築士会館   |
| 6. 15          | 関プロ栃木大会                      | 栃木県        |
| 6. 20          | 第3回情報広報委員会                   | 佐久市民創練センター |
| 6. 21          | 第1回式典担当委員会（総務・交流）            | 佐久市民創練センター |
| 6. 28          | 東信ブロック・共同事業開催会議              | 上田合同庁舎     |

## 御代田町フットパス事業報告

| 月 日      | 行 事 名                           | 場 所           |
|----------|---------------------------------|---------------|
| 3. 12    | 元気づくり支援金ヒアリング                   | 佐久合同庁舎        |
| 3. 15    | 地元への働きかけ方などの方針検討                |               |
| 3. 24    | 南側コース試歩き                        | 湯川沿い          |
| 4. 7     | 北側コース試歩き                        | 1000m林道       |
| 4. 10    | 御代田町役場と打合せ                      | 御代田町役場        |
| 4. 10    | 豊昇園挨拶                           | 豊昇園           |
| 4. 14～15 | 関係区長に挨拶及び資料配布                   | 御代田町各地区       |
| 4. 18    | 御代田町区長会議にて事業説明                  | エコール御代田       |
| 4. 28    | 南側コース試歩き（追加調査）                  | 湯川沿い          |
| 5. 12    | 湯川面替周辺と梨沢林道及び湯川右岸のアドベンチャーコースの調査 | 湯川沿い          |
| 5. 19    | ワークショップ（豊昇地区・面替地区）              | 豊昇地区世代間交流センター |
| 6. 30    | 仮コース歩き及びワークショップ                 | 御代田町          |

## 新年講演会 青木裕子氏の講演を聞いて

### 高橋美喜

2月9日「朗読の森の夢・プロジェクト」と題し、元NHKアナウンサーであり、現在、軽井沢朗読館館長の青木裕子さんの講演が行われました。



青木さんは、2010年にNHKを定年退職されました。退職後は東京の自宅に録音スタジオを作り、朗読の仕事ライフワークにしたいと考えていた青木さんは、たまたま軽井沢の知人の方から「水は出

ないが、安くて広い敷地がある」と標高1130mの軽井沢の山林を紹介されたそうです。

ご友人である全盲のイラストレーター エムナマエさんの小学校の同級生、首都大学東京の深尾精一教授が設計アドバイザーとなり、そこへ音



響や設備等のプロフェッショナルが集まり、「ここにみんなが集まれるホールを作ろう！」と軽井沢朗読館建設プロジェクトが始まりました。

朗読専用のホールは、日本でも初めての試みであり、大変苦勞されたそうです。朗読の場合、人の声はキレイ良く聞こえなければならず、残響が必要な音楽ホールとは逆なのですが、「音楽家の方にも満足してもらえるホールにしたい」と皆で研究し、結果、両方を満たす限界の大きさでホールが出来上がりました。

当社（竹花工業）は施工に携わらせていただいたので、私も完成時の内覧会にお邪魔しました。4月でしたが、周りはまだ雪景色。人家が途絶え、ここから先は国立公園という場所に朗読館がありました。青木さんがイメージしていた「キツネやクマ、リス、鹿たちが窓から中をのぞいて朗読を聞いている」、まさにそんな絵が浮かんでくるような風景です。

軽井沢の生活が始まってからは水との闘いだったそうです。地下から汲む浅間山の水は真っ赤。その水で磨いた歯はお歯黒のようになり、また人間ドッグのMRIでは肝臓が真っ黒に映り「ヘモジデロシス（肝臓に鉄がたまる症状）」と診断されたそうです。その後は（浅間山より古い）古生



代の地層から湧き出るきれいな水を汲んできたり、ペットボトルの水を利用したり。そんな生活を5年間も続けていたところ、見かねた町の古老たちが、国や県にかけあい、日本で一番小さい水道組合を発足させて、ようやく国有林の小川からきれいな水を引くことができるようになりました。生活の中に当たり前のようにある水が、人間にとって如何に大事かという事をあらためて実感したお話でした。（肝臓の方も改善されたそうです。）

続いて、青木さんが2014年にフランスと日本で行った朗読会のお話を伺いました。40数年来のご親友というフランス人女性が、アンドレ・ジャッピー（サンテグジュペリやリンドバークと同時代の冒険飛行家。佐賀県に不時着し、瀕死の状態だった彼を村人たちが救った。）の親戚だったという

縁で、その物語を書き下ろし、上演されたそうです。取材旅行の様子など写真を交えて聞くことができ、これも大変興味深い内容でした。

最後は、島崎藤村の「千曲川のスケッチ」から7編を朗読していただきました。千曲川のスケッチは、恥ずかしながら初めて拝読したのですが、



藤村の、言葉だけでその情景や人を思い起こさせる言い回しの美しさに、青木さんの声と語りや耳に心地よく、思わず聞き入ってしまいました。（青木さんの朗読は、FM軽井沢「軽井沢朗読散歩」という番組で聞くことができるので、ぜひ聞いてみてください！）

講演の初めに青木さんは、「退職後の人生も捨てたものじゃない」とおっしゃいました。決して便利とは言えない軽井沢の生活ですが、いきいきと過ごされている様子を知り、自分の中にも新たな刺激と活力をいただけた気がします。楽しいお話と素敵な朗読をありがとうございました。





平成30年度

## 総務・企画委員会活動について

総務・企画委員長 菊池弘之

昨年総務企画委員長を仰せつかり、委員の時は、様々な段取りをして頂いた後に事業に参加しておりましたが、委員長になると企画・準備・手配など多くの作業があり、又、昨年は三団体・東信ブロック・県のゴルフ大会と佐久支部担当が三つ重なり、12月は京都に視察研修＋全国大会参加、

2月に新年講演会＋日本建築士会連合会最優秀賞受賞報告会と慌ただしく1年が過ぎました、皆



様のご協力のお蔭で乗り越えられたことをこの場で御礼させていただきます。

今年は少し平穏に過ごせるかと考えておりましたが、何故か今年が佐久支部30周年の年となっており、記念事業実行委員会も既に発足しております。臼田支部長・山口実行委員長の元、社会貢献委員長の星野氏と私が副委員長を仰せつかり、今年1年も佐久支部で細目に働く所存です。

現在で決定しております、今後の日程をお知らせいたします。

**7月23日(月) 東信ブロックゴルフコンペ**

**場所：大浅間ゴルフクラブ**

**9月6日(木) 三団体ゴルフコンペ**

**場所：望月東急ゴルフクラブ**

**10月20日(土) フォーラム**

**10月26日(金) 建築士会全国大会**

**埼玉 日帰り参加**

末筆ながら、今年も皆様のご協力を重ねてお願い致します。

平成30年度

## 教育・事業委員会活動について

教育・事業委員長 茂木 隆

今年度は委員長就任二期目の最後の年となりました。二期目となった昨年は実務講習会を主に何とか皆様のご協力を戴きながらも無事予定通りの活動ができたかなと思っております。今年度は実務講習会に加え、隔年開催の第14回建築文化賞の年となりますが、併せて佐久支部の30周年の節目を迎えることとなることから、建築文化賞も30周年記念事業として開催されることとなります。来年度から(一社)長野県建築士会も公益法人に移行することから、建築文化賞の事業内容も”公益事業”として成立させるべく、対象範囲を他支部まで拡大するなどの内容変更を行かなければならない様です。規模的にも範囲が広がるので、限られた時間の中でどの様になるのかこれから佐久支部30周年記念事業実行委員会と検討会を重ね、又、会員の皆様の意見を戴きながら来年2月の開催に向け委員会一丸となって進めて行きたいと思っております。又、実務講習会につきましても今年も省エネルギー関連が主となりますが、それに拘らず会員の皆様方からの要望などをお聞きしながら決めて行きたいと思っております。必ずしも大きな講習会でなくとも、小規模な勉強会でも構わないと考えております。これは就任当初からの考えでありますが、なかなか実現していないのが現状でございます。最後の年なので是非この企画を実行したいと考えております。たくさんの方の意見をお待ちしておりますと共に、委員会より直接ご意見を伺うこともあるかと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。又、実務講習会の企画に付きましては、毎回当支部の賛助会員でもありません各業者の方々の多大な御負担と御協力を戴きながら開催されております。毎年賛助会員になられる業者様が増えて来ており、現在25社となっております。教育事業委員会では実務講習会等を通じお互いのより良い関係を築く為の中心となる立場として活動してまいります。

最後に本委員会を運営して行くにあたり、皆様のより一層のご指導、御協力を重ねてお願い申し上げます。

平成 30 年度

## 社会貢献委員会活動について

社会貢献委員長 星野武光

昨年度から社会貢献委員会では、「防災」・「まちづくり」・「住宅ストック」の三つの部会を設けて、委員会全体で協議していくものと、活動の詳細については部会毎に検討しその内容を委員会全体に報告しながら実行していくものとに分け、多岐に渡る活動・事業を柔軟性を保ちながら、その内容に合わせ取り組んでいます。

防災部会では、佐久支部が佐久地域市町村と地震の災害発生時に行う避難施設の応急危険度判定の協定に伴い、事前準備として「防災マップ」を作成して



います。防災マップには施設周辺の地図、施設情報、外観写真が記入され、ファイルには応急危険度判定士の連絡網など災害時の素早い対応が出来るように工夫しています。作成には大変労力がいるりますが、一昨年から多くの委員及び委員会以外の会員の皆さまのご協力のもと着々と整備ができています。ご協力いただいています皆さまに感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

またまちづくり部会では、「親子でつくろう！ウッドクラフト」の開催を、また住宅ストック部会では本年度4月から施行された「既存住宅状況調査」の対応の為の実技講習会や空き家対策を行なっています。地域の建築士としての社会貢献が主になる委員会活動です。引き続き、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。



平成 30 年度

## 情報広報委員会活動について

情報広報委員長 山浦孝志

支部会報ちくまの誌面をカラー印刷にして2誌目となりました。まだまだ工夫の必要な部分は多くありますが、白黒誌面よりもかなり見やすくなったと思います。さらに改良を重ね、より見やすく読みやすい誌面に仕上げていきたいと思っています。

会報ちくまの表紙写真、佐久三十三番札所【佐久の札所】シリーズは今回発刊される59号の安養寺で6



件目となりました。委員会で表紙写真撮影取材を行うのですが、カラー誌面の為、写真撮影には今まで以上に神経を使う様になりました。

委員会活動は、支部会報ちくまの年2回の発行及び佐久支部ホームページの活用充実と大きくわけて2つの活動です。さらに本年度は、支部30周年記念の年であり、記念冊子の発行も予定しています。記念冊子の詳細内容はまだ検討中ですが、支部会報ちくま60号と合わせての発刊と考えています。(会報ちくま60号記念増刊号等としての発刊)。



また支部会報「ちくま」は会員の方々の協力で成り立っています。より良い内容にするためにも皆さんの協力が必要です。これからも原稿依頼・写真依頼のお願いには快く受けて下さいますようお願いいたします。委員の皆さんと楽しみながら委員会活動を行っていききたいと思います。

平成30年度

## 青年女性委員会活動について

青年女性委員長 緑川博行

日ごろより諸先輩方及び会員の皆様方には青年の活動に際し多大なご協力を戴き誠にありがとうございます。

今年度の事業計画は御代田町において長野県元気づくり支援金に採択されたフットパス事業を推進していくことです。

フットパスとは森林や田園地帯、古い街並みなどに昔からありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径です。歩いている方が地域特有の何かを発見し感じとってもらえるような仕組みを作りたいと思います。

青年女性委員会ではまだ肌寒い3月より、馴染みのない地域を探検するかのように散策ルートの検討を重ねています。御代田町南部の湯川沿い面替、豊昇の2地区は町内でも人口減少が著しいエリアですが、歴史的には古く中山道のベースとなった古東山道のルートであった経緯から、史跡や土着文化の色が濃く残った集落があります。湯川溪谷の地理的特性から形成された風景や集落は、この地域にしかない魅力があると感じられます。

活動が進展して行く中で地域の方、行政にも協力が得られようになり、今後は地域に必要な活動になって行けるように努めて行きたいと考えています。

また委員会の人材面に於いては、今まで活動の主力を担ったことがない方に経験を積んで貰うことが重要と考えます。長い目でみれば支部内で、地元の建築士が地域住民や町との関係性を構築し、より地域に根ざした活動を行えます。

例え、今後会員が減少したとしてもこの手法の継続であれば建築士会が地域社会に何らかの提案ができます。会員の皆様のご支援、ご協力お願い申し上げます。

平成30年度

## 交流委員会活動について

交流委員長 大町栄一

昨年平成29年度は建築士会佐久支部全体予算の都合により『建築士ネットワーク佐久』は開催されませんでした。真夏の親睦ソフトボール大会は盛大に開催することが出来ました。木陰でのバーベキューも大好評でした。今年もやります！

「皆さん奮ってご参加ください」



交流委員会は建築士同士の交流促進を図り、地域との交流促進、建設業界、賛助会員との交流促進、レジェンド会員アドバイザーシステムの活用



を考え、人と人の交流機会を通じて、公益社団法人となる長野県建築士会への対応を協議して行く所存です。また来年早春に開催予定の建築士会佐久支部30周年記念事業では総務企画委員会と共同で式典の準備をしていきます。

会員の皆様のご積極的なご参加ご協力をお願いいたします。

## 着任のご挨拶

課長補佐 小林博幸



今年の4月の人事異動で、佐久建設事務所建築課に赴任してまいりました小林博幸と申します。

建築士会、建築士事務所協会、建築物防災協会の佐久支部の会員の皆様には、日頃から本県の建築住宅行政の推進に多大なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、皆様におかれましては、各種の活動を通じまして、まちづくりや地域の活性化に寄与され建築士の社会的地位の向上にご尽力されていることに敬意を表する次第です。

さて、佐久地域での勤務は平成12年から約4年間、平成21年から3年間お世話になり、今回は7年ぶり3回目となります。前回異動した後の6年間で、建築住宅課、中信会計センター、木曾建設事務所と3箇所の職場にいましたが、その間に経験した単身赴任と地震について触れたいと思います。

まず単身赴任ですが、中信会計センターは松本にあるためそこで2年間、木曾では1年間単身赴任をしまして、基本的には毎週金曜日夜に自宅へ帰り、月曜日の朝松本や木曾に戻る生活です。仕事の関係者の方々や地元にいる同級生に単身赴任していることをお話しすると、女性は「大変ですね。」とか「寂しいでしょ。」等々の反応ですが、男性はほぼ同じ「いいな、俺もしてみたい。」といった反応が面白いです。

単身赴任は自由で気ままといった印象はありますが、ある意味二重生活なので家電の購入等金銭面での負担がありますし、家に帰っても誰もいないので寂しいと感じると思います。私は一人っ子のせいかどちらかというと楽しく過ごしましたが、単身赴任は割と負担に感じる人の方が多いと思われるので、羨ましくはないと思います。

次に地震ですが、平成24年度に建築指導課（現：建築住宅課）に異動した際は長野県北部地震で栄村に建設した仮設住宅の管理を引き継ぎ、平成26年の長野県神城断層地震の際は白馬村での応急仮設住宅の建設を担当し、平成29年には木曾町及び王滝村での地震を自ら体験しました。特に木曾町では震度5強の本震の後にも震度4から5強の余震があり、地響きを伴う地震は夜寝ていても目が覚めることもありました。

佐久地域は活断層がないといったことから地震に関心が薄いように感じられますが、糸魚川-静岡構造線（北部）の地震での被害想定では6強の地域も想定されており、また、川上村・南相木村・北相木村は首都直下地震緊急対策区域に、川上村・南牧村は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されていますので、より一層の耐震対策を推進するため皆様のご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げるとともに、お気軽に建築課にお越しいただけるような環境を整えてまいりたいと存じますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 着任のご挨拶

技師 藤田将行



4月より佐久建設事務所建築課に配属になった藤田将行と申します。私は社会人経験がありますが、この4月より長野県職員として働き始めたばかりです。担当地域は小諸市と立科町です。

大学では土木を学んでおり建築には無縁ではありましたが、初めての就職先が建築物の維持管理や修繕を行う会社であったこともあり、この度建築職として長野県で働かせて頂くことになりました。前の会社に在職中には建築にもっと関われる仕事につきたいと思っていた為、今回県職員として多岐にわたる建築業務に携われる事を楽しみに感じております。私は、松本市出身であり、正直申し上げますと東信の佐久には縁もゆかりもございませんでした。前職の勤務地が群馬県高崎市であった為、里帰りの際に何度か佐久を通過させて頂いた程度です。しかし、初めて里帰りをした際に、上信越道の八風山トンネルを抜けて浅間山に見える景色に感動したのを覚えております。当時は浅間山を横目に松本まであと一時間半だなと思いながら車を走らせておりました。その時は、まさか自分が佐久で働くことになるとは思ってもおりませんでした。また、思い起こしてみますと私が3歳の頃に、家族で鬼押し出し園に遊びに行き、飛行機の陶器に色を塗って焼いた記憶が未だにありました。佐久には縁もゆかりもないとは思っておりましたが、佐久の地で働きだしてみているいろいろ考えておりますと、全く佐久に縁がなかったわけでもないのだと思っております。私には、子供が2人おり家族4人で引っ越して参りました。まだまだ右も左もわからない状況ではありますが、週末になると家族4人で出かけて佐久の地を散策して、佐久での生活を楽しんでおります。私の身の上話をつらつらと書かせていただきましたが、佐久の地で県職員として良いスタートが切れていると感じております。まだまだ若輩者で皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 着任のご挨拶

技師 高内郁宏



今年度から佐久建設事務所に参りました、高内郁宏と申します。すでにご挨拶させていただいた方もおりますが、まだお会いしていない方も多いかと思えます。これからお世話になります、

よろしくお願いたします。私は、異動前には本庁の、都市・まちづくり課という部署におり、開発許可や都市計画の関連業務を行っておりました。今年度から建築確認業務に携わることになり、毎日多くのことを勉強させていただいています。ご迷惑をおかけする場面も多いかと存じますが、ご容赦いただき優しくして頂けると幸いです。

異動に当たり佐久市に引っ越してきたのですが、佐久市を含め東信のこの辺りには全く地縁がなく、今まではたまたま軽井沢に遊びに来るくらいのものでした。何も知らないまま引っ越してきてしまい、いざ生活してみると、4月になっても5月になってもいつまでも暖かくならず、寒いなあ、暖房つけようかな。。。と思うこともしばしばでした。逆に最近はとでも過ごしやすくなってきましたね。調べてみると標高が700mもあり、今まで暮らしていた長野市に比べると倍も高く、それは日本で指折りの避暑地になるわけだなと膝を打つのと同時に、冬はどれだけ寒いのかと今から少し怖くなっています。寒さを乗り切る良い知恵をお持ちの方はぜひご教示ください。こちらで仕事を始めてから2ヶ月が経ち、本当にいろいろな方と関わる機会の多い職場だなと感じております。業務の中で特に自分が楽しみにしていることが建築の完了検査で、建築士さんによっては、検査項目ではない建物のこだわりについてなど、お話をしてくださります。異動前の職場では現場に出ることもほとんどなかったため、直に建築物を見に行く機会が日常的にあり、建築士の方々から様々なお話を聞けるというのはすごく嬉しいことだなあと感じております。ご一緒に検査をする機会があれば、お互いの仕事の支障にならない程度にいろいろと教えていただければありがたいです。

まだまだ分からないことも多いですが、出来ることを少しずつでも増やしていこうと思っております。これからもよろしくお願いたします。

## 新入会員の声

石山和恵

4月開催、青年女性委員会主催の「仕事に役立つ整理収納セミナー及び新入会員歓迎会」に参加させていただきました。小学校へ入学したての娘と共に伺いましたが、皆様に温かく迎え入れていただきましたことを心より感謝申し上げます。人生初の名刺交換をした娘が「お母さんの行く所は楽しい所だね」と喜び、「また行きたい」と言うそんな姿を見て、資格取得後は右も左もわからない状態でありましたので、「建築士会佐久支部へ入会させていただいて本当によかった」と安堵いたしました。

佐久へ愛知からお嫁にきて十余年過ぎました。結婚してすぐ主人が建設会社から独立し、個人事業 Aki-STYLE を始め、私の前職は建築とは関係ない仕事でしたから、専従者として現場に出る日々には戸惑いもありました。それでも、現場に出て、お施主様とコミュニケーションを取る中で、「門前の小僧習わぬ経を読む」が如く、興味が湧いてきました。二年程前、法人化し一般建設業許可を取得した頃、かねてから挑戦したいと思っていた二級建築士を目指し、一年勉強させてもらい、何とか資格取得に至りました。

ふと、私の建築との関わりのルーツを考えると、製缶溶接業の父の仕事を手伝った学生の頃、「お前は世界一ヘルメットの似合う女だな」と言った父の笑顔と繋がります。

建築と言う奥深い世界の門前にやっと立つことができました。さらに勉強していく中でも、原点である現場とお施主様を大切にしていきたいと思えます。建築士会佐久支部の諸先輩方には今後とも、末永くご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



## 新入会員の声

今井直和

皆さん初めまして。この度、長野県建築士会佐久支部に入会させて頂きました 今井 直和 と申します。私は長野県南佐久郡川上村の出身です。小さい頃から物作りに興味があり中学を卒業後、建築について学ぶ為に東京の専門学校に進学し、3年間、学業に励みました。その後、東京の建設会社に就職が決まり、病院建設・合材プラント建設・高層ビル建設・鉄道施設建設・戸建住宅の建設と多種のプロジェクトに携わり色々な経験をしてきました。その中、自身のスキルアップのために資格を取得しようと思い、2級建築士試験を受験しました。無事に学科試験・製図試験共に合格して、平成27年12月に2級建築士として登録をしました。実は、2級建築士を取得することは自身の中で第一目標としていた資格でもあるので取得出来た事は嬉しく思います。しかし、これはスタートラインだと思っています。なぜなら1級建築士になることが夢であり目標だからです。そのような事もあり埼玉建築士会へ入会して、短期間ではありますが活動させて頂きノウハウを勉強させて頂きました。しかし、地元(長野県)の事を思い出し、長野県で建築士として仕事をしたいと思う事があり、今年(平成30年1月)長野に戻って、今の会社へご縁があり転職しました。現在の業務は、工事管理支援・設計支援を行っています。前職においては工事管理業務がメインとなり、設計業務が少なかった分、設計に対する知識が不足している部分がありますので、勉強しながら長野県の皆様により良い住環境を提供できるように努力していきたいと思えます。又、長野県建築士会会員、そして一人の建築士として地域に貢献していきたいと思えますので、今後とも末永くお願い申し上げます。

## 賛助会員の紹介

### 綿半ソリューションズ株式会社

長野県建築士会佐久支部会員のみなさまにおかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。この度は企業紹介という貴重な機会を頂きましたので、グループの紹介を兼ね自社紹介をさせていただきます。綿半グループは、今年で創業420周年を迎えることができました。このように時代が大きく激しく変化していく中で今日を迎えることができましたのは、お取引先各位をはじめとする多くのご関係の皆様からの暖かいご支援とご高配の賜物であり、改めて心より御礼申し上げます。弊社は、戦国時代末期の慶長3（1598）年、初代・綿屋仁兵衛が飯田の地で綿商いを始めたことを起源として、仁兵衛の子孫が代々綿屋半三郎を名乗ったことが「綿半」の由来となっております。創業から江戸時代に掛けては、飯田藩の御用達商人として綿の商いを行っていましたが、明治に入り海外から鉄・セメント等新しい素材が入ってくると金物商へと経営転換しました。その後、建設資材の卸売業として成長し、戦後は建築鉄骨や屋根外壁などの建設工事業に進出、現在では、内装工事、緑化工事、自走式立体駐車場建設など多種多様な施工実績を誇っております。「自然との共生」をグループビジョンとして、建物とガーデンを一体で企画・デザイン、施工から維持メンテナンスまでをトータル提案する等、付加価値の向上に取り組んでおります。昭和50年代からは金物店を大型化しホームセンターを展開、その後は生鮮食品までを扱うスーパーセンターへと小売事業を進化、2010年には貿易事業を本格的に開始するなど、綿半グループの業態は時代の移り変わりと共に変化と拡大を続けてまいりました。

グループ内で建設事業に携わる綿半ソリューションズ(株)は、お客様にソリューション(課題解決)を提供することを、事業の主軸とし、お客様に貢献できる会社を目指してまいりますので、引き続き変わらぬご指導ご支援を賜ります様お願い申し上げます。

最後に、長野県建築士会佐久支部会員の皆様の益々のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

## 賛助会員の紹介

### 株式会社 本久

長野県建築士会佐久支部会員の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。株式会社本久は、おかげさまで創業300年を迎えることができました。享保2年（1717年）屋号を「本屋（もとや）」として、善光寺東町で宿場問屋を始め、塩回槽の売買からスタートし、木綿やコンニャク粉の卸業へと転換。その後は木炭、石炭、コンクリート等を販売。時代と共に試行錯誤を繰り返しながらも、土木・建築資材・工事を中心とした企業として、地域の皆様に成長させて頂きました。創業300年を迎える現在、多業種一体型企業として、土木・建設関連事業を軸に、レジャー事業や外食事業を展開。「ホテル国際21」や老舗旅館等も加え、幅広いフィールドに進出し一層強固な基盤を生み出しております。経済環境やニーズの変化に柔軟な発想と社員の団結力が築き上げた、新分野への挑戦と歴史でもあります。本久グループは社員総数1,800名を超える規模となった今でも、現在進行形で『変化・発展し続ける』企業と致しまして、関係者一同、心を新たにして皆様の御期待に添えますよう、一層努力してまいり所存でございます。最後に、長野県建築士会佐久支部会員の皆様の益々のご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げます。

#### ◆ 主な事業内容 ◆

##### 【卸売業：建設資材】

建設資材の販売、土木・建設工事の設計、施工  
道路舗装材料の製造・販売・加工、鋼材・機械工具・工作機械・  
上下水道資材・住宅設備機器の販売、石油事業、生コン事業

##### 【レジャー事業】

七福の湯（上越店・前橋店・戸田店）、菜々の湯（千葉県習志野）、  
蘭々の湯（千葉市）、蔵の湯（東松山店・鶴ヶ島店・川越店・かんなの湯）、  
健幸の湯ほっとぴあ（新潟県見附市）

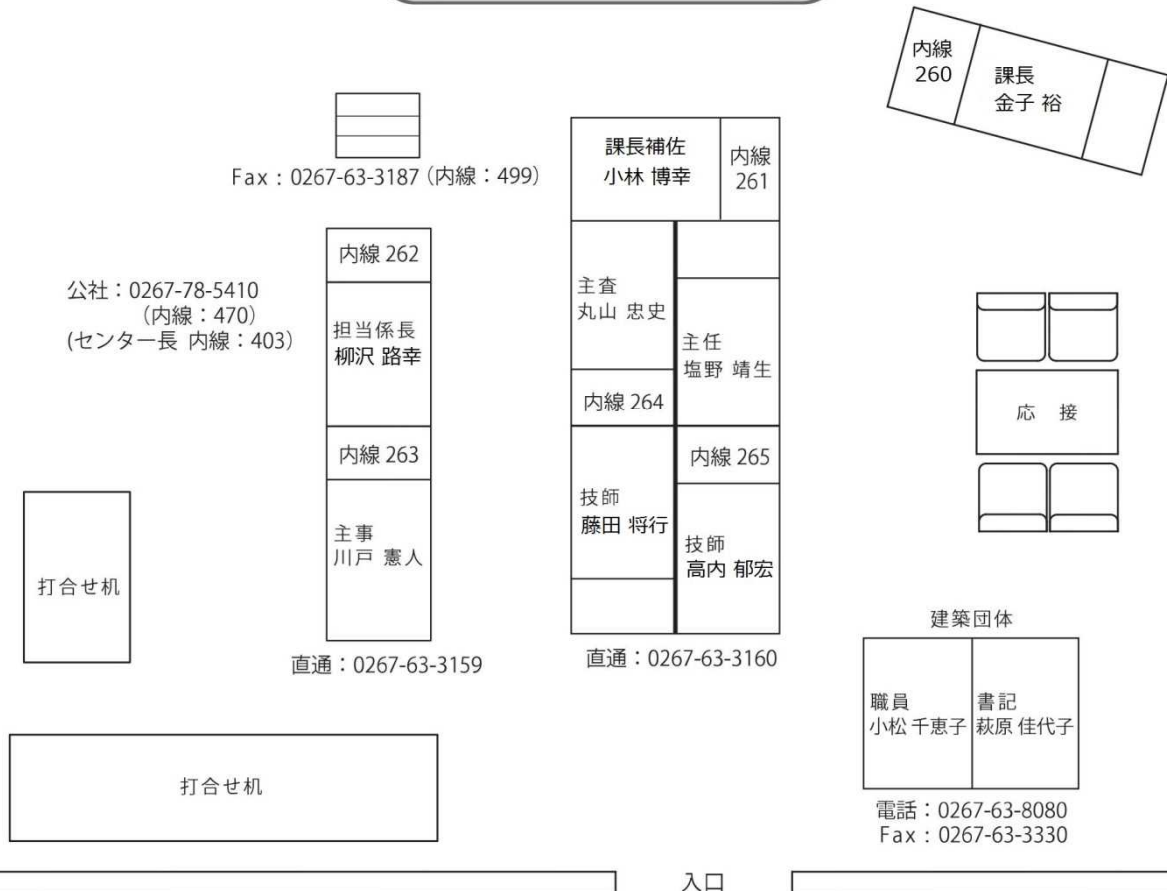
##### 【外食事業】

村さ来、はなまるうどん、幸楽苑、焼肉きんぐ、万さく、天井らんや、ゆず庵、がってん食堂、SALVATORE GUOMO

Keep your challenge.  
300th 終わらない挑戦。  
感謝を胸に、ともに新しいフィールドへ。

本久

**建築課配置図**



**\*\*\*\*\*●編集後記●\*\*\*\*\***

会報印刷をカラーにして2誌目です。  
 まだまだ多くの工夫が必要だとおもいますが、白黒誌面時よりもかなり見やすくなったと思います。  
 さらに改良を重ね、より見やすく読みやすい誌面を目指したいと思います。  
 会報の内容で、お気づきの点等ご意見ご感想をお寄せください。

\*\*\*\*\*

**会報『ちくま』第59号 2018/7**  
 発行者：(一社)長野県建築士会 佐久支部  
 情報広報委員会  
 事務局：〒385-8533 佐久市跡部 65-1  
 佐久建設事務所内  
 TEL 0267-63-8080  
 FAX 0267-63-3330  
 E-mail:ken8080@seagreen.ocn.ne.jp  
 支部HP <http://www.aba-saku.com/>



は平成31年1月中旬予定です。